



2022年6月14日

各 位

会社名 株式会社オービス  
 代表者 代表取締役社長 中浜 勇治  
 (コード番号: 7827 東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役経理部長 井上 清輝  
 電話番号 084-934-2621  
 (URL <https://www.orvis.co.jp>)

2022年10月期第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正及び  
 配当予想の修正に関するお知らせ

2021年12月14日に公表いたしました2022年10月期第2四半期累計期間(2021年11月1日～2022年4月30日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2022年10月期(2021年11月1日～2022年10月31日)の通期業績予想及び1株当たり配当予想の修正について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年10月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異  
 (2021年11月1日～2022年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,692	184	196	131	75.04
実績値 (B)	5,649	362	393	269	154.05
増減額 (B-A)	△42	177	197	138	—
増減率 (%)	△0.7	95.9	100.6	105.4	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年10月期第2四半期)	4,485	78	104	△6	△3.87

2. 2022年10月期通期業績予想数値の修正  
 (2021年11月1日～2022年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,266	412	399	264	151.29
今回修正予想 (B)	11,261	619	637	438	250.54
増減額 (B-A)	△5	207	238	173	—
増減率 (%)	△0.1	50.2	59.7	65.7	—
(ご参考) 前期実績 (2021年10月期)	9,425	229	238	93	53.73

(差異及び修正理由)

主力の木材事業において、木材の供給不足や価格高騰（いわゆるウッドショック）に対して、適正なタイミングにて販売価格への転嫁が進んだことや「脱・梱包用材」として取り組んでまいりました国産杉の背板を利用したCLT材（クロス・ラミネイティド・ティンバー）や建築用ラミナ材向けへの供給による販路の拡大が福山工場の原木消化量を最大限増加させ、単位当たりの製造コストが低下いたしました。これにより営業利益、経常利益及び四半期純利益はいずれも前回予想値を上回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、ロシア・ウクライナ情勢による地政学的リスク、サプライチェーンの混乱等がもたらす経済への下振れ懸念があるものの、第2四半期累計期間の業績予想を上回ったことから、第3四半期以降の事業動向に関する見通しを踏まえ、上記のとおり修正いたします。

なお、修正予想において第3四半期以降の為替レートは1 US\$112円から130円へと修正しております。

### 3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2021年12月14日発表)	円 銭	円 銭 30.00	円 銭 30.00
今回修正予想		40.00	40.00
当期実績 (2022年10月期)	0.00		
前期実績 (2021年10月期)	0.00	20.00	20.00

(修正の理由)

当社の配当政策は、業績の伸長を踏まえ、将来の事業計画、設備投資及び経営安定化等のための内部留保に努めるとともに、業績に応じた適正な利益配分を考慮しつつ、安定的な配当を継続的に実施していくことを基本的な方針としております。

このような配当政策と2項に記載しました通期業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想は1株当たり30円から10円増配し、40円に修正いたします。

なお、本件につきましては、2023年1月開催予定の第63期定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済状況の変化及び様々な要因によって、実際の業績等は予想値と異なる場合があります。

以上